

6. 光弾性のしおりを作ろう

韓国・スウォン中学校(元ソミョン女子高等学校) キム・インス

1. 子どもたちへのメッセージ

光弾性を利用して、偏光フィルムの上に複屈折素材（OPP シートなど）を挟むことにより、時々刻々と変化する不思議な色彩の芸術品を作ることができます。

2. よういするもの

偏光フィルム片(20mm×20mm)、アクリルミラー(45mm×45mm)、OPP の袋、OPP シート片、OPP テープ、ハサミ、リボン(5mm×30cm)、パンチ

3. やりかた

- (1) 偏光フィルムと OPP シートをハサミで自由にカットします（イメージパンチ）。
- (2) このとき、カットした偏光フィルム片と OPP 片の一部または全部を重ねるとどのような芸術的効果が得られるかを、事前に考えておくことが重要です。



- (3) アクリルミラーの反射面に、自由にカットした偏光フィルムと OPP シートを一部または全部を重ねるように置きます。置かれた位置が OPP の袋の中で自由に動き、刻々と変化するアート作品となります。
- (4) 上記(3)で作成した作品の端を OPP テープで閉じ、打ち抜いてリボンを付けたものが「光弾性しおり」です。
- (5) 偏光フィルム片の表裏、アクリルミラーの反射面に保護ビニールが貼られている場合、鏡に鮮明な像を見るためには、その保護ビニールをはがす必要があります。
- (6) 光弾性を利用して、偏光フィルムの上に複屈折材料（OPP シートなど）を挟むことにより、時々刻々と変化する不思議な色彩の芸術品を作ることができます。

4. わかること

光弾性を利用して、偏光フィルムの上に複屈折材料（OPP シートなど）を挟むことにより、時々刻々と変化する不思議な色彩の芸術品を作ることができます。

5. 気をつけよう

偏光フィルム片の表裏、アクリルミラーの反射面に保護ビニールが貼られている場合、鏡に鮮明な像を見るためには、その保護ビニールをはがす必要があります。

6. 参考になる資料

中学・高校の教科書